

令和5年8月

魚津市定例記者会見



日時：令和5年8月1日(火) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞社、富山新聞社、読売新聞、NHK富山放送局、
北日本放送、新川コミュニティ放送、市町村新聞

市当局出席者：市長、企画部次長(情報広報課長)

【市長からの発表事項】

1. 第54回 じゃんとこい魚津まつり

(商工観光課)

・コロナ前とほぼ同じ規模で開催する。せり込み蝶六踊り街流しについては、今年は魚津駅で初日に開催。昨年は、500～600人の参加だったと思うが、今年は約1200名の方が踊りを披露する。盛大に開催したい。たてもん協力隊は300人を募集していたが、まだ今年は難しいということで、それでも150人の方にご参加いただけることとなっている。うおづキャンドルロードもいろいろな方の関わりを得て実施できることとなった。ウオジャズは開催できるか危ぶまれてたが、(株)桑山様のご協力で開催できることとなった。実行委員会中心で開催する。市としてもしっかりと協力したい。

2. テレワーク入門セミナー

(商工観光課)

・新たな働き方として、定着もしてきているテレワークに関するセミナーを開催する。1回のみ参加も可能。オンライン参加が難しい場合は、リアル会場も設けている。

3. アクアリウムコンテスト

(商工観光課)

・つくるUOZUプロジェクトは、ゲーム作りで必要となるCG技術を学ぶ機会を設けようと、(株)ORENDA WORLDと連携し、富山湾の魚を3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)で作成し、形のおもしろさや動きの出来栄を競うコンテストを本年9月30日と来年2月に開催を予定している。

4. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト「親子体験会」

(農林水産課)

・魚津の農林水産業を親子で学ぶ「親子体験会」の8月実施分の内容。8月は、「くだもの」、「やさい(ハクサイとレンコン)」の2つのコースで体験会を行う大変人気のコースとなっている。

5. 教育あり方検討会 意見交換会

(教育総務課)

・これからの理想の教育を考える意見交換会を開催する。少子化が進む中で、一方では、不登校や特別支援の児童生徒が増え、個別最適な学習環境が求められているが、簡単に提供できるものでもない現状もある。そこで、若者自身の経験を踏まえたご意見をいただき、これからの教育について真剣に考えていきたい。魚津市では小学校統廃合も進めてきており、その影響や、どう活かしていくかといった観点も持ってご意見をしっかり聞いていく機会としたい。

6. 第38回 井原市友好親善都市児童交流事業 出発式

(生涯学習・スポーツ課)

・昭和58年からの井原市との友好親善都市児童交流事業も、今回で38回目を迎え、今年度は魚津市から井原市へ市内の児童20名が訪問する。去年はオンラインでの交流であったが、今年はリアルな交流を実施することとなった。

7. トランスジャパンアルプスレース(TJAR) 講演会

(生涯学習・スポーツ課)

・2022大会の優勝者の土井さんをお迎えして講演会を実施する。大変な大会新記録で優勝された。いろいろな思いやレースの中での体験をお話していただきたい。この事業は、実行委員会による手作りの事業であるため、今後の大会での活用のため参加費をいただくこととした。

8. 保育料無償化事業・おうちで育児応援事業

(こども課)

・当初予算でもお示していたが、9月から実施することとなった。
保育料無償化事業は、市が独自に実施している保育料・副食費無償化の対象を拡大。申請は不要。
おうちで育児応援事業は、保育所等を利用せずに満1歳から満3歳未満のお子様を家庭で育てる保護者の方に、申請により児童1人あたり月2万円の応援金を支給。
しっかりと取組を進めていきたい。

9. 2023 ミラたん健康ポイント

(健康センター)

・運動の実践、市民バスの利用など健康づくりへの取組みをポイント化し、市民が楽しみながら主体的に健康づくりに取り組むことを目的として、平成24年から実施しており、今年で12年目を迎える。今回は、従来の応募用紙による参加に加えて、新たにLINEアプリを利用した参加が可能となった。今日から開始となる。私も目標を立てて、すでにポイントもいただいた。当選確率も3割を超えているのでぜひご応募いただきたい。

10. 婚活サポーター向けセミナー

(地域協働課)

・結婚を希望する方に対し、1対1での紹介やイベント案内を提供する「このとりマリッジサポート」制度の会員のサポートを行っている「このとりサポーター」のスキルアップや新たなサポーターの養成を目的に、12年で260組を成婚に導いた『婚活倶楽部なんと』から講師をお迎えし、セミナーを開催する。

【質疑応答の内容】

○「保育料無償化事業・おうちで育児応援事業」について

《記者からの質問》

本事業についての意気込みと効果について説明願いたい。

《回答》(市長)

無償化が、どこまで実際の出生増にすぐにつながるかは、現段階ではわからないが、市から「若者のいる、子どものいる地域を作るんだ」との思い、メッセージを伝えたい。これからの地域をつないでいくために、育てやすい地域社会を考えていきたい。

○「学力テストの結果公表」について

《記者からの質問》

魚津市は非公表としていることについて説明してほしい。

《回答》(市長)

個別の学校や点数が公表はしていないが、全体概要については議会等でご説明している。教育委員会ともこれまでも、こういったダイミングでどこまでこのデータを学校教育に活かしていけるかを話している。現場の先生方の理解も重要。今後も検討していきたい。

○「井原市交流」について

《記者からの質問》

出発日が魚津まつりの2日目の花火と重なっており、魚津の祭りに行きたかった児童もいるのではないかと思うが、このような日程にしたのはなぜか。

《回答》（市長）

同時期に井原市の祭りがあるからだと聞いている。

○「チャットGPT」について

《記者からの質問》

魚津市での活用についてお聞きしたい。職員に制限等はあるのか。

《回答》（市長）

現状では、統一した方針は設定していない。学校では、文科省のガイドラインに沿って考えていく。非常に興味は持っている。何よりも、職員の仕事が今よりも効率化されることによって、できる対応も増えていく。住民の皆様にとってもスピードアップできればいいのではないかと思うが、課題もあるので使い方について、職員と話をしながら取り組んでいきたい。